

【Press Release】

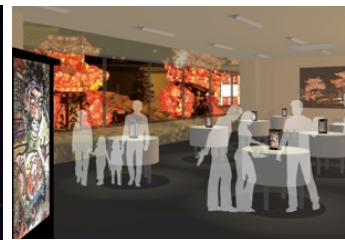
2024年5月16日
富山の祭り活性化事業共同企業体
富山県

<江戸時代に起源をもつ歴史的な「津沢夜高^{よたか}あんどん祭」が今年も開催！>

津沢の「喧嘩夜高行燈」初！お食事とともに間近で見られる特別観覧席を販売！
5月16日（木）より50席限定で発売開始

～『ハレの日のごっつお（ご馳走）と楽しむ、大迫力のあんどんぶつかり合い特別観覧席』～

富山県小矢部市では、江戸時代に起源をもつ歴史的なお祭り、大あんどん同士がぶつかり合う「喧嘩夜高行燈」の異名をもつ、「津沢夜高あんどん祭」を今年も開催いたします。その開催に際し、今年初めての取り組みとして、お食事と屋内からお祭りを見られる特別観覧席をご用意しました。この特別観覧席を含む観光旅行商品プランを5月16日（木）より販売いたします。富山県および小矢部市としても初の試みとなる本プロジェクトを通して得られた収益を地域経済および津沢夜高あんどん祭の担い手に還元することで、持続可能な循環モデルの創出を目指してまいります。



「津沢夜高あんどん祭」は、毎年6月の第一金・土曜の夜に小矢部市津沢地区で開催されており、江戸時代に起源をもつ歴史的なお祭りです。竹細工や和紙で作られた田楽、山車、吊り物から組み立てられ、太鼓の響きと掛け声とともにライトアップされたあんどんを担ぎ、夜の街中を練り歩きます。本お祭りの最大の見どころは、高さ7m、長さ12mの巨大あんどんが1対1で激しくぶつかり合い相手側の吊り物を壊す「喧嘩夜高行燈」です。この「ぶつかり合い」を目の前で、且つ同じ高さの目線でご覧いただける特別観覧席とお食事と地元のお酒をはじめとしたお飲み物がセットになった『ハレの日のごっつお（ご馳走）と楽しむ、大迫力のあんどんぶつかり合い特別観覧席』を発売します。さらに、壊れた後のあんどんの一部を活用し、この世に一つだけのアートを制作いただけるワークショップも開催します。大迫力のこのお祭りの魅力を余すことなく肌で体感していただける貴重な機会となっております。

<<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>>

富山の祭り活性化事業共同企業体・PR事務局（サニーサイドアップ内）

担当：吉田(080-7687-8670)、小池、武内/E-MAIL: toyama_no_matsuri_pr@ssu.co.jp

◆開催概要

名 称：ハレの日のごつつお（ご馳走）と楽しむ、大迫力のあんどんぶつかり合い特別観覧席

※本文中で短く紹介する必要がある場合は下記でお願いします。

「大迫力のあんどんぶつかり合い特別観覧席（地元名物お食事付き）」

開 催 日：2024年6月8日(土)（祭り2日目のみ）

会 場：津沢あんどんふれあい会館/富山県小矢部市岩武 921

発 売 日：2024年5月16日(木)より順次発売

価 格：下記、3つのプランがございます。

① ぶつかり合い特別観覧席+あんどん再利用ワークショップ 12,000円（税込）

② ぶつかり合い特別観覧席 10,400円（税込）

③ あんどん再利用ワークショップ 3,000円（税込）

販 売 数：50席限定

発 売 先：<https://widgets.bokun.io/online-sales/4d7cc0c7-042f-4c5f-bbc5-c8a05e1d2526/experience/867875>

企画実施：(株)PCO

協 力：小矢部市/ 津沢夜高行燈保存会 / 小矢部市観光協会

◆体験プラン

ぶつかり合い特別観覧席

大迫力のぶつかり合いを目の前で、高さ7メートルのあんどんと同じ目線からご覧いただける特別観覧席をご用意。さらにお食事と地元のお酒をはじめお飲み物もセットになった特別体験プランです。ぶつかり合いが行われるエリアの真ん前にある「津沢あんどんふれあい会館」の2階をこの日限りの特別スペースとして装飾し、ゆっくりとご覧いただくことができます。

お食事

小矢部市産の地元食材を使用した、この日しか味わえない「津沢夜高あんどん祭」限定のお弁当と、お飲み物には富山の地酒をはじめとしたアルコールやソフトドリンクをご提供いたします。このほか、地元特産品のおつまみもご用意する予定です。

※写真はイメージです。当日ご提供する商品とは異なります。

※お飲み物は、所定の杯数分のドリンクチケットをお使い頂いた後は、別途会場内にて販売させていただきます。

(写真上から)

- ・特別観覧席の会場となる「津沢あんどんふれあい会館」赤枠の窓からご覧いただけます。
- ・特別観覧席のイメージ
- ・お食事のイメージ（当日変更になる場合がございます）
- ・お飲み物のイメージ（当日変更になる場合がございます）



あんどん再利用ワークショップ

ぶつかり合いにより、壊れたあんどんの一部を再利用し、一つしかない「あんどんアート」を作れるワークショップを開催。これまでは、壊れた後のあんどんは、ゴミとして焼却されていましたが、今回は初めての取り組みとして、このお祭りのために多くの人の手により制作され、参加者の想いと熱量が込められたあんどんの一部を、ここでしか手にすることができないアートに変換し、お持ち帰りいただけます。



通訳ガイド付きまち歩き

町なかのあんどんの練りまわしに合わせて、通訳ならびにガイドと共に、街を回れる取り組みも実施。「津沢夜高あんどん祭」や「小矢部市津沢地区」について情報を知りながら、エリアを肌で体験することができる特別なプログラムです。



◆スケジュール

2024年6月8日(土) | 19:00~22:30 (18:00 受付開始)

18:00~ 受付(順次ワークショップ・屋台見学など自由散策)

19:00~ 食事・ドリンク提供・津沢夜高あんどん祭の解説

19:00~/20:00~ 通訳ガイド付きまち歩き(神社の参拝やあんどん巡行路の散策)

21:00~ ぶつかり合い見学

※予定は急遽変更になる可能性がある旨、ご了承ください。

【参考情報】津沢夜高あんどん祭について

◇祭の概要

燈と魂の壮麗な夜

毎年6月第一金・土曜の夜、小矢部市津沢地区では五穀豊穡、天下泰平を願い「津沢夜高あんどん祭」が開催されます。夜高は田楽、山車、吊り物から組み立てられ、大きいものは高7m・長12m余りのものもあります。祭りの当日、宵闇が迫ると、家々の軒先毎につるした田楽行燈に灯がともされます。それを合図に、まず豆しぼりの鉢巻に小若の法被を着た子供たちが小行燈を引き、その後、若衆たちが太鼓の響きと掛け声とともに大行燈を練り担ぎます。祭りの見せ場は、向かい合った双方の夜高行燈が、総裁許の掛け声で、相手側の吊り物を壊す「ぶつかり合い」。若衆たちの勇気、エネルギーのぶつかり合う瞬間であり、そこに居合わす見物客も一緒に緊張と陶酔の世界へと引き込んでいきます。

●参考動画 URL: <https://www.youtube.com/watch?v=Di6f97cfelQ> (小矢部市観光協会)



◇祭の歴史

夜高行燈の起源

慶安5年(1652年)、越中国(現在の富山県) 福野の鎮守の氏神として伊勢神宮から御分霊を勧請した際、その御分霊の行列が加賀(現在の石川県)と越中の国境にある倶利伽羅峠にさしかかった頃に日が暮れてしまいました。この報せをうけた町民が、道しるべ用の行燈を手に持ち、御分霊の行列を出迎えたことが「夜高行燈」の起源であると伝わっています。その後、田植えが終わり、砺波地方の方言で「ヤスゴト」と呼ばれる日に、農作業を休んで神社に参詣して五穀豊穰・豊年満作を願う「田祭り」の行事と結びついたことが「津沢夜高あんどん祭」の由来であると考えられています。

◇ぶつかり合う意味

高さ7m、長さ12mの大行燈が1対1で激しくぶつかり合うことから「喧嘩夜高祭(けんかよたかまつり)」とも呼ばれます。向かい合った2つの行燈が、総裁許(そうさいきょ)の掛け声で激しくぶつかり合い、吊り物と呼ばれる前方の行燈を壊す「ぶつかり合い」は迫力満点です。

祭りの2日間、あんどん広場にて行われるぶつかり合いは午後9時から午前零時までの間、相手を替えながら繰り返し行われます。

◇夜高行燈について

使用される夜高行燈は山車・座布団・田楽行燈・吊り物などから構成されており、総重量約5トンになるといわれています。吊り物は細い竹を用いて、龍・御所車・花籠・牡丹・蝶・鶴など立体を形どり、和紙を貼ります。その上に蠟引き・食紅など彩色をして仕上げます。完成までには数ヶ月かかり、毎晩おそくまで全て共同手作業で行われています。

◇イベント情報

夜高あんどん開会式

6月7日(金)午後7時／あんどん広場

夜高あんどん練りまわし

6月7日(金)・8日(土) 午後7時～12時／津沢市街地

夜高あんどんのぶつかり合い

6月7日(金)・8日(土) 午後9時～12時／あんどん広場前

夜高あんどんコンクール

6月7日(金) 審査 午後11時結果発表 大行燈7基・中行燈4基・小行燈10基

あんどん広場テント村

6月7日(金)・8日(土) 午後6時～12時

お土産や飲食コーナーなどあり

◀本件に関する報道関係者のお問い合わせ先▶

富山の祭り活性化事業共同事業体・PR事務局(サニーサイドアップ内)

担当: 担当: 吉田(080-7687-8670)、小池、武内/E-MAIL: toyama_no_matsuri_pr@ssu.co.jp